

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
令和4年(速報値)	1,710	1,508	1,982	1,802	2,164	1,968
令和3年(確定値)	1,755	1,700	2,012	1,854	1,865	1,859
前年比	-45	-192	-30	-52	+299	+109

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和4年(速報値)	1,846	1,770	1,899	1,712	1,703	1,520
令和3年(確定値)	1,729	1,735	1,660	1,667	1,604	1,567
前年比	+117	+35	+239	+45	+99	-47

令和4年の全国で自殺者数が最も多かったのは5月の2,164人でした。逆に、最も少なかったのは2月の1,508人でした。

また、前年よりも自殺者数が増加した月は5月～11月で、減少した月は1月～4月、12月でした。

参考文献

「警察庁の自殺統計に基づく自殺者数の推移等」、2023、厚生労働省自殺対策推進室

【2】自殺について知ろう

◇JSCP 主催「生きることの包括的支援のための基礎研修」について◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

○ 生きることの包括的支援のための基礎研修とは

自殺対策は「生きることの包括的支援」として幅広い分野・領域と連携しながら、自殺に追い込まれることのない地域づくりとして推進するものです。「生きることの包括的支援のための基礎研修」は2021年度中に全6回(テーマ別)の開催、2022年度は現在2回まで開催されています。地域で「生きることの包括的支援」として自殺対策を推進するために必要な「事業企画の立案」や「支援技術の理解」に役立てていただくことを目的とした研修となっています。2022年度の第1回は10月27日に開催され、自殺対策担当者約700人の参加がありました。

今回の *Andante* では、第1回「生きることの包括的支援のための基礎研修」についてまとめ、現在、全国の自殺対策に関わる自治体がどのような活動をされているのか概観したく思います。

当研修では、新たな自殺総合対策の概要や新大綱を踏まえた地域自殺対策計画の作成・見直しの方向性等について厚生労働省、JSCPからの説明の後、質疑応答が行われました。

今回は、この内容の中でも特に、「自殺対策推進に係る実態と課題」についてまとめていきたいと思っています。なお、新たな自殺総合対策の概要や新大綱については *Andante* vol.161 で取り上げていますので、お知らせ内のリンクよりご参照ください。

○ 自殺対策推進に係る実態と課題

都道府県別にみた自殺対策における課題(回答率)[出典:自殺対策推進状況調査]

- 十分な人数の担当者を当てるのが難しい:89.4%
- 十分な予算を当てるのが難しい:74.5%
- 庁内の関係部局の十分な理解を得られない:31.9%
- 自殺者が少なく必要性を感じない:0.0%
- 現場の担当職の経験・知識が不足している:40.4%
- 自殺対策の参考事例などの情報が不足している:38.3%
- 地域の自殺の実態が把握できない:29.8%
- 地域の自殺対策関連団体と協力関係が作りにくい:6.4%
- 自殺対策に関する情報(国の動向等)が届かない:10.6%

都道府県別にみた取り組みの実施状況(回答率)[出典:自殺対策推進状況調査]

- 対面相談窓口の有無:有り 91.5%
- 電話相談窓口の有無:有り 100.0%
- SNS による相談窓口の有無:有り 68.1%
- 自治体窓口でのリーフレット等配布:実施 93.6%
- 自治体窓口以外でのリーフレット等配布:実施 85.1%
- ウェブサイトを通じた情報提供:実施 97.9%
- 広報誌等を通じた情報提供:実施 46.8%
- 自死遺族への訪問活動:実施 23.4%
- わかちあいの会の開催(支援):実施 76.6%

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う活動の変化について[出典:新型コロナウイルス感染症拡大による活動への影響に関する民間団体へのアンケート 2021]「今後、どのような支援やサポートがあれば、コロナ禍以前の規模や体制で活動を継続できると思いますか。貴団体が活動を継続する上で、あると助かる・あってほしいと思うサポートを、以下の中からお選びください。」という問いに対して、

- ①「オンライン等を活用して活動をする際の留意点や、活動を継続している団体等の取組事例などに関する具体的な情報の提供や研修の実施」:12 団体 26.7%
- ②「活動環境を整備する際の資金的な援助(電話の転送やネット環境の構築)」:19 団体 42.2%
- ③「交通手段の確保(タクシー代やガソリン代の補助など)」:4 団体 8.9%
- ④「マスクや除菌用ウェットティッシュなど、感染防止のための物資の提供」:13 団体 28.9%
- ⑤「感染拡大状況下においても閉鎖等の心配がない活動場所の提供」:11 団体 24.4%
- ⑥「感染状況を踏まえた活動可否の目安等に係る行政からの情報提供」:12 団体 26.7%
- ⑦その他:7 団体 15.6%
- ⑧無回答:8 団体 17.8%

自殺対策に関する意識調査(令和3年)結果抜粋[出典:厚生労働省「自殺対策に関する意識調査」]

①よりそいホットライン:(内容まで知っていた)3.8%(内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある)27.1%(知らなかった)67.0%(無回答)2.0%

②こころの健康相談統一ダイヤル:(内容まで知っていた)8.1%(内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある)49.8%(知らなかった)40.7%(無回答)1.4%

③ゲートキーパー:(内容まで知っていた)3.1%(内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある)9.2%(知らなかった)85.3%(無回答)2.3%

④自殺予防週間:(内容まで知っていた)5.1%(内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある)27.2%(知らなかった)65.8%(無回答)1.9%

⑤自殺対策強化月間:(内容まで知っていた)3.2%(内容は知らなかったが言葉は聞いたことがある)17.4%(知らなかった)76.9%(無回答)2.6%

①「自殺は、その多くが防ぐことのできる社会的な問題である」:(そう思う)27.0%(ややそう思う)31.4%(ややそう思わない)10.8%(そう思わない)10.0%(分からない)13.2%(無回答)7.7%

②「生死は最終的に本人の判断に任せるべきである」:(そう思う)16.2%(ややそう思う)15.3%(ややそう思わない)11.0%(そう思わない)31.2%(分からない)18.3%(無回答)8.1%

③「責任を取って自殺することは仕方がない」:(そう思う)3.4%(ややそう思う)5.6%(ややそう思わない)7.5%(そう思わない)63.2%(分からない)12.3%(無回答)8.1%

以上のような情報提供がありました。この他にも、「都道府県と市区町村別にみた計画策定年度と改訂予定年度」、「都道府県、市区町村別にみたゲートキーパー研修、SOS 教育の実施状況」、「単独計画と他計画の中に含まれた計画の比較」などもありましたが、これらはより専門的で具体的な内容のため紙面の都合上省かせていただいておりますことご了承ください。

○ 以降の開催について

2022年度の第2回目は11月29日に行われ、約400人が参加されました。「地域で支える自殺対策～精神医療と寄り添い支援の視点から」をテーマに、精神科医の森川すいめい氏、足立区、NPO法人ライフリンクの方がご登壇され、4名それぞれの現場から様々なリアルな課題や取組、支援の在り方について、議論を重ねられました。JSCPのホームページでも報告されていますので、興味のある方はそちらからご参照ください。

参考文献

いのち支える自殺対策推進センター(JSCP)ホームページ、<https://jscp.or.jp/>

【3】お知らせ

◇ 精神保健福祉センターでは、こころの電話相談を次の時間帯で行っています。

月曜から金曜日 9:00～21:00

土曜日曜祝日(12月29日～1月3日を除く) 10:00～16:00

Tel:0570-064-556

※ご相談の電話が集中しますと、つながりにくい状態になりますがご了承ください。

◇ 現在北海道でも、こころの SNS (LINE) 相談が開設されています。

詳しくは、下記のリンクをご覧ください。

北海道こころの健康 SNS 相談窓口:

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/shf/linesoudan.html>

◇ ホームページをご覧ください

北海道地域自殺対策推進センターのホームページを開設しています。最新の北海道の状況を掲載しており、より情報を見やすく分かりやすくお伝えできるよう心がけています。

また、Andante のバックナンバーへのリンクもございますので是非ご覧ください。

ホームページ URL:

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/a0002/>

◇ メールマガジンのご登録内容の変更や解約手続きにつきましては、以下のリンクから行っていただけます。

北海道のメールマガジン URL:

<http://www1.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/>

【4】編集後記

新年明けましておめでとうございます。Andante は、本年も変わらず自殺に関する情報や取り組みなど、皆様のお役に立てるような情報をお届けできるよう努力してまいりますので、変わらぬご愛顧、どうぞよろしく願いいたします。

さて、今回は新年最初ということで、昨年の自殺者数速報値(確定値は例年3月公表)と自殺対策の基本的なところについて読んでいただきました。次回は、保健所管内別の自殺者数や孤独・孤立にいてまとめていく予定となっております。

北海道では毎年のことではありますが、厳しい寒さが続いております。室内にこもる機会も多いかと思われまますので、インフルエンザや新型コロナウイルスなど、十分にお気をつけください。

いつもご愛読ありがとうございます。

次号 Vol.164 は、令和 5 年 2 月末に配信予定です。

＊ご質問、ご要望等お問い合わせ先＊

北海道立精神保健福祉センター
札幌市白石区本通 16 丁目北 6 番 34 号

Tel 011-864-7121

Fax 011-864-9546

URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/>

Mail hofuku.seishin1@pref.hokkaido.lg.jp